

自己実現 2024

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【第3回実力考査教科・科目別講評】

〈国語〉 平均点一覧

【一】	【二】	【三】	【四】	合計
19.2	18.8	10.5	15.8	64.5

現代文分野 【一】の論説的な文章は、日本人の「カミ」に対する認識の変遷について述べられた文章で、大きく「古代」「中世」「近世」の三つの時代に分けて説明されている。しかし、意味段落ごとの内容が整理できていない（特に古代と中世の内容が混ざっている）まま設問に取り組んだ者が多かったようだ。筆者独自の考えを丁寧にたどる文章とは異なり、今回のような文章では書いてある情報を正しく読み取り、すばやく整理する力が求められる。様々なジャンルの文章に触れ、実践力を磨いていかねばならない。**【二】**の文学的な文章では、二題の記述問題(五十字・百字)以外は極めて正答率が高く、登場人物の心情説明を選択肢の中で吟味する点にかけては殊に出来がよかった。記述問題も前回より記述率は格段に高くなった。次なる課題点は“理解できていることをわかりやすく誤解のないように書くこと”であろう。「祖母以外に男子が生まれる見込みがないため、祖母に剣術を教えて強くし、跡継ぎにしようという思惑。」という解答の何が問題かを考えてほしい。それが課題解決への第一歩につながるはずである。

古文分野 【三】は、同一の人物に関する文章を、異なる出典作品から【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】として出題した。それぞれに複数の人物が登場し、登場順やその他の人物の有無など、〈文章Ⅰ〉と〈文章Ⅱ〉とで異なる内容も含まれていたが、問われている人物に関する読み取りをしっかりと行えば、基本古語と基本文法の方で解答できる問題が多かった。しかし解答の状況を見ると、人物に関する内容把握は交錯・混迷しており、夏休み中の長文読解の演習不足が表れている。得点率を上げていくためには、本格的に古文長文読解の学習に時間を費やしていかねばならない。

漢文分野 【四】は、これまでの考査より白紙の解答が少なく、取り組み方は大変良かった。問七の記述も満点とはいかなくても得点できた者が多かった。この調子で漢文に対する苦手意識を少しずつ払拭してってもらいたい。その一方で、問一のcや、問四、問六のような句形の知識だけで正解できる問題の正答率は相変わらず低い。「況」を用いる抑揚形や「豈」を用いる反語形は、入試頻出であり、これまでも何度も問題にしてきたものであるのに、まだ知識として定着していない。漢文の句形や語彙の学習にそろそろ本腰をいれよう。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

<数 学>

難問よりも基礎・基本的事項の徹底を！1度間違えた問題は2度と間違えないつもりで復習をしよう。また、正確な計算力を身に付けるとともに、授業の演習に誠実に取り組むことが必要です。

1文理共通（指数関数と対数関数・三角関数）

分母に変数があるとき、0となる場合はないか、不等式であれば、正負に関しては常に注意をしておこう。対数では、「底の条件」、「真数条件」は必ず押さえる。logを付けたり、外すときは底の条件を必ず抑える必要があります。三角関数の「解の個数」問題も頻出で変数変換で、1対1対応か複数対応なのかを意識して克服することです。

2文理共通（図形と方程式）

思考力を問う問題であった。最大値、最小値を求めるからといって、xyに直線 $y=x+k$ をすぐに代入してしまっはいけない。 D_k とxyの関係を図から見通しを立てる必要がある。

3文理共通（数列）

(1)～(3)については必ず出来てほしい問題である。「階差数列」、「混合数列(等差)×(等比)」の解法については、必ず理解しておこう。対数を取り、隣接二項間の漸化式を導く流れは定番です。

4文理共通（ベクトル）

普通科理系の人、1学期期末考査でも出題した問題の類題である。「共面条件」、「共線条件」はベクトルでは必須事項である。解説をよく読み、ベクトルは基本概念なのでしっかりと理解しよう。

5文系（積分）

放物線と直線の交点の座標が複雑になる場合は、 α 、 β と文字を置き換えるなど、計算の工夫の仕方を理解しておこう。「基本対称式」を利用した積分計算をマスターしよう。

5理系（2次曲線・極限）

「相反方程式」の解法を理解しておこう。解説をよく読み、もう一度解いてみてください。理解の幅が広がると思います。2次曲線の問題は計算量が多いので根気よく計算を実行する必要がある。

6理系（積分）

定番の問題である。「区分求積法」の基本的な解法を定着させよう。「logの積分」「商の導関数」、「置換積分」は確実に理解して、解けなければいけない。基礎的な計算力は必須である。

<英 語>

	配点	出題内容・主題	英文の語数	難易
1	33点	読解総合（人文社会）ストレスと不安	843語	難
2	34点	読解総合（小説）『クララとお日さま』	847語	標準
3	33点	読解総合（自然科学）コロナウィルス	747語	難
4～8	52点	文法・語彙（同意文、正誤問題、並べ替えなど）		標準
9	15点	英文和訳 オリンピック・現代科学など	116語	標準
10	18点	和文英訳 動物実験・薬品の安全性など		標準
11	15点	自由英作文 「文部科学省が学校でAIを使うことを制限すべきか60字から80字以内であなたの意見を述べなさい。」		標準

<保護者の方々にも読んでいただきますよう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

読解問題1~3の素材英文量は、3題の合計で、英文和訳を含めると約2500語であり、読解量はかなり多い。100分でこの分量を読むには、時間配分が大切になってくる。分からない問題を、粘って考え続けてしまうことが時間配分ミスにつながる。取れる問題で点数を取る意識をもとう。時間が足りない生徒は、長文のすべてを読み、理解しないと問題を解けない場合が多い。問題の周辺から答えを探し、早く答えを探す訓練をする必要がある。また、分からない単語に意識がいき、単語の意味を予想する訓練も必要である。一度出てきた単語はその場で覚えることも必要だが、限界もあるので、単語を予測することも大切である。また、和訳問題で英文の構造を理解し、構文や文法事項に気付き、そのかたまりごとに訳し、部分点を取りに行くことも必要である。満点ではなく、1点でも多く取るという解答であってほしい。これには多くの長文問題を解くしかないので、多くの問題を解き、語彙力を高めつつ、長文問題に慣れていってほしい。

文法・語彙問題では、基礎レベルの問題も多かった。間違った部分は復習し、確実に覚えておくこと。

〈模試振り返りノートの活用〉

英文和訳と和文英訳については、点数自体はあまり伸びなかったが、半年前と比べても確実に表現力がついてきている。自分が確実に知っている表現に置き換えたり、持っている語彙の中から表現したり、と授業での取り組み内容が力につながっている実感があつた。

今回から自由英作文が加わり、単純な英訳問題が減ったので、解きやすかったと思う。自由英作文は、自分の立場、理由1、サポートアイデア、理由2、サポートアイデア、結論と書いていくというスタイルが決まっているので、この形は崩さないでほしい。授業や宿題であるスマコレを活かして、自由英作の力をつけていってほしい。

〈物 理〉 【全平均 31.2、普通科理系 27.1、総理 44.9】

今回は75分間でしたので、入試標準レベルで設定しました。大問6問でしたので、時間的に厳しかったかも知れませんが、解けなかった問題は、計算ミスなのか、勘違いなのか、理解していないのか、理由をしっかりと把握してください。

1は運動方程式を立てて解く、慣性力を考慮して等加速度直線運動に当てはめる、という力学の基本中の基本ともいえる問題でした。これは絶対に解けなければいけない問題です。共通テストでも出題されそうな内容ですし、1が理解できない人はもう一度基本からやり直しましょう。2は多くの人が衛星の質量を $2m$ ではなく m で計算していました。問題をしっかり読みましょう。先入観を持って早とちりしてはいけません。内容的には比較的できている人が多かったと感じました。3は単振動と力学的エネルギーの保存をうまく組み合わせる問題ですが、これも運動方程式を用いると比較的簡単にできる問題です。単振動や円運動も基本は運動方程式であることを押さえておいてください。計算力が要求される問題でもあるので、ぜひもう一度、解いてみてください。4は気体に関する公式を、当てはめるべきところへの確に当てはめる問題です。公式を整理しておきましょう。5はコンデンサのつなぎ換えの問題、(5)(6)はほとんどできていませんでした。落ち着いて慎重に考えればできると思いますが、この手の問題は練習量がものをいいます。回路図をわかりやすく書き換えるなど、面倒がらずに取り組んでほしいところです。6は最近授業で取り上げたところですが、状況を正確につかめていない人が多いようです。これも図を工夫して書くなどして状況をしっかり把握しましょう。夏休み中しっかり勉強した人も、すぐに結果が現れるとは限りません。今は自分の「まちがい方」を把握して、理解できていないところは早急に対策を打つようにしましょう。普通科も中間までに教科書を終えます。演習問題にしっかり取り組みましょう。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈化学〉

今回の実力考査はすべて記述の二次形式とし、前回6月の平均点が低調であったため、設問には誘導をつけたものもありやや易しめの設定としました。そのため高得点者も多く、1/4弱の生徒が5割以上の得点を確保して、全体の平均も36点となりました。ただ心配なのは、得点度数分布が下にいくほど大きく膨らむグラフとなっていて、ピークが20点台前半にあります。人数を調べると約1/3の生徒が25点未満となっていて、この易しめの問題でも点数が取れない理由が、3年の夏休みに復習に手を付けなかったのか？点数に結びつかない勉強であったのか？いずれにしても点数が取れなかった人は待ったなしの状況ですから、しっかり答案を分析して受験本番までの残り半年間の勉強に生かしてください。最後に前回の講評の内容をもう一度書きます。基本問題集（グローバル）とともにマーク式問題集（チェック&演習化学）は既習範囲まで一通り（手を動かして問題集用のノートに）解き終わっていますか（授業は有機も終わりました。高分子も間もなく終わりますよ）。暗記がたいへんな分野ですが覚える努力をしていますか？時間不足になった人は普段から意識して問題を解くスピードを（計算も含めて）アップさせましょう。

〈生物〉

第1回、第2回、第3回と回を追うごとに問題の難易度は上がっている。そのため、第2回の平均点(37.2)とほぼ変わらない36.4点という平均点であったが、力は着実についてきている。特に、1学期に復習した細胞・遺伝子の範囲以外で知識の整理が進んでいるものも多く、夏休みにリードLightノートを終え、重要問題集も進めている（中には終わったものもいると思うが）様子がうかがえた。難関大でも出題される文章穴埋めの問いは、完答できるように。論述問題の多くには、字数制限を設けたが、前回同様、論述量の目安として、制限字数を超えたものも減点はしていない。まずは書いてみるのが重要である。特に、「定番」と呼ばれる論述（第1問問4（1）、第4問問4など）は、問題に適応させて短時間で解答できるように。また、考察が必要な論述には、生物・生命現象の適応的観点、都合の良い仕組みであるということを考えて解答を組み立てよう。第4問【Ⅲ】のような全くの初見の問題に対して、今まで学習してきた内容にどう当てはめて解き崩していくか、授業で君たちが学習した内容は多くはないが、解き崩すための道具や材料は十分に備わっているはずである。

〈世界史〉

共通テスト形式37問、記述形式50問、論述形式（簡潔な説明）5問を出題しました。大問3と7はテーマ史としましたが、割とストレートな出題なので、よく反復して身につけてほしいところです。論述問題は40字および50字程度の短いものなので、重要語句と求められる内容をうまくコンパクトにまとめる必要があります。高いハードルではないので、練習を積み重ねれば乗り越えられると思います。大問4は19世紀の列強に関する頻出事項がほとんどです。(17)の条約名については細かい知識を求められていますが、ロシアの南下政策については特に時代を動かしていますので、年表などを確認しておきましょう。大問5もよく取り上げられる内容ばかりですが、フランス大革命の際の政策や政治勢力は複雑ですが、しっかり整理しておいてください。大問6はやや難問ですが、基本的知識と読解力で解答は導けるので落ち着いて向き合ってください。大問7は現代中国についての基本事項です。ただ、重要人物についてはある程度の情報（地位や役職など）を正確なものにしておきましょう。

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈日本史〉

第1問～第3問は共通テスト形式、第4問、第5問は難関私大入試問題形式、第6問は国公立二次試験形式の問題を出題しました。難易度的には第2回実力テストと同じくらいですが、平均点が第2回の35.4点から46.3点に上がりました。正答率や解答をみると明らかに日本史も勉強し始めた生徒が多くいることがわかりました。第4問～第6問は難問も多く含まれていたため正答率は低いですが、第1問～第3問の共通テスト形式の正答率はかなり高くなってきており、頻出の史資料読解問題も対応できるようになった生徒も多いようです。史資料問題は時間さえかければ、間違ふことはありません。今回、不調に終わった皆さんも、日本史は頑張れば、頑張った分だけ成績は上がるので、これからの頑張りに期待します。

〈地理〉

平均70点 今回は記述問題のみ出題した。第一問は世界白地図の作図問題。世界地図を頭に描けるかどうかを出題した。経線緯線をいくつか設定し、世界全体を俯瞰できるかを確認した。これが出来たら二次対策の基本が取得できたことになる。第二問は地理的用語の説明。東大形式の二行三行で記述する。まだまだその形式に慣れていない。自分が持っている知識をうまくこの行数に納めることがまだまだと感じた。地理知識を上手に引き出していく訓練はこれから必要である。

〈倫理政経〉

倫理分野の平均点は27.6/50。ギリシアから日本の江戸時代の儒学までの源流思想と青年期の問題を出题範囲とした。世界の源流思想は正答率52%であった。9の正答率が11%と低かった。ウィリアム=オッカムの知識を身につけて欲しい。日本の思想は正答率が56%。まずまずできているが、知識の再確認をしておくこと。青年期の問題は正答率が56%。正答率の高い問題もあるが、22のような正答文がいくつかあるかという問題が20%と低かった。共通テストで提案された問題形式に慣れるように問題演習を数多くこなして欲しい。

政治経済分野の平均点は20.5/50。政治分野のみから出題した。50のドント式計算の問題は時間不足のためか正答率が18%と低かった。ここまでの計算は共通テストでは求めないかもしれないが、出題可能性は十分あるので計算方法はおさえておいてほしい。理屈さえしていればかなり簡単な計算である。また43は国連と専門機関に関する問題であったが、正答率12%と低かった。国連による安全保障のシステム、各専門機関の役割などは確認してほしい。特に安全保障システムはこまかいところまで問われるので気を付けてほしい。やはり政治分野については手続きが大事なので国内政治でも国際政治でも手続き的な内容で失点しないようによく復習してほしい。

■ 〈校外模試の案内について〉

〔北九州予備校〕 九州大・広島大・関関同立大プレテスト(11/3)：センタープラザ

申し込み用紙は進路資料室前に有り。各自QRコードで申し込むこと。

〔高松予備校〕 岡山大・香川大オープンは10/22(日)：本校にて実施；

申込用紙は今月中に進路指導室部の松下まで取りに来ること。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

■ 10月下旬に実施予定のマーク模試について

10/20(金)・21(土) … 「第3回全統共通テストマーク模試」

〈時間割〉

- ・ 10/19(木) LHR受験届記入 [10/20(金)放課後まで]
- ・ 10/20(金) 授業終了後 マークシート配布
15:30~16:40 数学ⅠA(70) 16:50~17:50 数学ⅡB(60)
- ・ 10/21(土) 08:20 着席完了・マークシート配布

1~3組(文系)	4~9組(理系, 総理)
08:30~10:40 地歴公民(130)	08:30~10:40 理科(130)
10:50~11:50 理科(60)	10:50~11:50 地歴(60)
1~9組 12:25 着席完了	
12:30~13:50 国語(80)	
14:00~15:20 英語(80)	
15:30~16:10 リスニング(40) [ICプレーヤー使用の説明(10)を含む]	
16:10~17:00 <u>自己採点</u>	

都合があってもどうしても受験を別日程で受けたい人は進路指導部(松井先生)に申し出て下さい。10/22(日)を予備日とする。

〈注意事項〉

- ※ 大学入学共通テストで受験する予定の科目の選択を可とします。(例えば、公民の選択科目を「倫理」や「政治・経済」にすることができます。)
- ※ 文系で理科②を受験したい者、理系で文系学部を受験する予定の者(つまり理系のセンター試験で、地歴公民2科目を受験する予定の者)または理系で理科の試験時間に「理科①+理科②1科目」の型で大学入学共通テストを申し込んだ者等は、この型の受験を可とします。前述のようなイレギュラーの受験パターンを希望する生徒は10/5(木)迄に必ず進路指導部の松井先生に申し出て下さい。

※天候不順のとき、予備日10/22(日)にすべてやりきる予定です。

- ※【告知】・11/19(土)または26(土)〈会場確保のため実施日は未定!〉全統プレ共通テスト(河合塾)が実施されますが、申込用紙は後日配布する予定です。
 - ・①10/29(日)第3回駿台ベネッセ共通テスト模試の申込用紙は後日配布する予定です。
 - ・②12/10(日)駿台 atama+プレ共通テストの申込用紙は後日配布する予定です。
- ※いずれの模試も希望する生徒は学校を通して申し込んでください。

[後記] 共通テスト志願票の取りまとめが無事完了し、9/25(月)に発送する予定です。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2024』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。